

第 74 回大会総会報告: 於 琉球大学 (2013/11/16)

【報告事項】

(1) 平成 24 年度第 8 回優秀発表賞選考結果の報告

【優秀発表賞】(2 件)

受賞者 (所属): 島義弘 (鹿児島大学教育学部)

発表題目: 「不適切な被養育経験と情動認知—内的作業モデルによる媒介効果の検討—」

受賞者 (所属): 田爪宏二 (受賞時所属: 鹿児島国際大学、現所属: 京都教育大学)

発表題目: 「保育実習の進行に伴う大学生の「保育者アイデンティティ」確立の変化—保育実習Ⅱ終了時における調査から—」

【若手研究奨励賞】(1 件)

受賞者 (所属): 久家慶子 (久留米大学大学院心理学研究科)

発表題目: 「反転鏡で化粧をすると」

(2) 第 75 回大会開催大学について

宮崎公立大学 (2014 年 11 月 15, 16 日)

【審議事項】

(1) 第 73 回大会決算報告 (鹿児島大学)

同 監査報告 承認

(2) 事務局決算報告 (九州大学)

同 監査報告 承認

(3) 学部学生の優秀発表賞受賞資格について

学会事務局より学部学生の学会発表認可に伴う優秀発表賞に関する取り扱いについて提案がなされ、以下の内容で承認された。

- ・優秀発表賞と若手研究奨励賞の受賞対象に学部学生臨時会員を含める。

それに伴い、優秀発表賞規定を改定する。

- ・ただし、学部学生臨時会員は石田研究奨励賞内規の「心理学の研究者を目指す優秀な大学院生の発表に対して授与する」に該当しないので、石田研究奨励賞の受賞対象にはならない。

- ・改定された優秀発表賞規程は次年度 (第 75 回) 大会の選考から適用される。

(4) 九州心理学会の今後について

学会事務局より提案がなされ、以下の内容で承認された。

- ・九州大学による学会事務局の継続は困難であるため、2014年3月末までに学会事務局を九州大学から鹿児島大学に移動する。それに伴い、九州心理学会会則の第2条を「本会の事務局は鹿児島大学教育学部学校教育講座（教育心理学）内におく。」と変更する。ただし、鹿児島大学への事務局設置は最長で5年を限度とする。

- ・鹿児島大学に学会事務局を設置できる5年以内で、事務局を含めた九州心理学会の今後について早急な議論が必要であることが確認された。

【九州心理学会大会優秀発表賞授与式】

第73回大会で選ばれた優秀発表賞に対して、賞状と副賞の授与が行われた。